

特殊詐欺事件（DBS 等なりすまし詐欺）に関する注意喚起

最近また、当地銀行（DBS 等）の職員になりすまし、電話や SMS 等で銀行の口座番号やパスワードを聞き出し、金を振り込ませる詐欺の手口が発生しています。日本人の方も被害に遭っています。銀行が電話や SMS 等で、ID や口座番号、パスワードなどを聞くことは決してありません。詐欺の被害に遭わないよう、細心の注意をお願いします。

1 典型手口

- (1) DBS などの銀行員を名乗る人物から電話や WhatsApp などで連絡若しくは SMS で口座やキャッシュカードがロックされたなどのメッセージが届く。口座やキャッシュカードがロックされた、ハッキングされた、偽造されたなどの口実で、確認のためと説明し、口座番号の詳細やパスワードを聞き出す。聞き出した情報で、当該口座から不正に別口座に送金する。
- (2) DBS を装ってローンに関する SMS が届く。SMS 内にある連絡先（氏名及び電話番号 +65*****) に電話若しくはメッセージを送ると、シニア・ローンアドバイザーを名乗る人物が低金利でお金を貸すと説明する。その後、この人物が、ID や銀行口座、給料明細書などのコピーを送るよう指示する。開始手数料（例：200S ドル）と保険料（例：500S ドル）を指定する銀行口座に振り込ませる。その後、違う銀行口座に振り込む必要があったとして、更に同様の金額を追加で違う指定口座に振り込むよう要求し、この手口を繰り返す。

2 対応策

- (1) +65 から始まる電話番号をシンガポール国内で受けた場合は、これはシンガポール国内からの電話ではありませんので注意してください（シンガポール国内通話の場合、+65 はつかず 8 桁の番号のみ表示）。この電話番号は詐欺集団が利用する電話番号で、海外からの電話ですので、「電話に出ない」か「すぐに電話を切る」ようにしてください。また、SMS は無視してください。
- (2) 銀行に限らず、警察、公共機関などが個人情報や口座番号、パスワードを電話やメールなどで尋ねることはありません。他人からの要求により、電話やメール、チャットアプリなどで ID や口座番号、パスワードを決して教えないでください。
- (3) もし、何度も電話や SMS などで連絡がある場合は、その場で対応せず、一旦電話を切って、自分から銀行のカスタマーサービスなどに電話やメールをしてください。

3 もし被害に遭ってしまったら…

- (1) ご加盟している銀行の緊急対応電話へ速やかに連絡してください（キャッシュカードの裏側等に緊急電話番号が記載してあります）。
- (2) また、最寄りの警察へ被害届（POLICE REPORT）を提出してください。
- (3) 途中で気づいた場合は、電話等を切って、すぐに銀行、警察に連絡をしてください。
- (4) 銀行に相談し、速やかに口座の閉鎖等を行ってください。